

加治丘陵の北側ふもと



金子駅のエレベーター



霞川の清水橋上流



金子駅の跨線橋



いるま 市議会 だより

No.178

平成29年2月
定例会号
2017年5月1日発行

2月定例会

平成29年度予算を原案可決	2P
条例など44議案を審議	6P
定例会議決結果	7P
クローズアップ討論	8P
10名が一般質問	10P
改選後の初議会、議員紹介	15P
市民の声、ミニ情報	18P



入間市マスコットキャラクター
「いるティー」

第1回定例会

トピックス

2017.2

平成29年度 一般会計予算 407億1,000万円

平成29年第1回定例会は、1月31日から2月22日までの23日間開催され、提出議案等44件について審議されました。

内容としては、委員会提出による条例1件、議員提出による意見書1件、市長提出による人事案件2件、条例18件、一般議案2件、平成28年度補正予算10件、平成29年度当初予算10件であり、すべての議案が原案のとおり可決されました。

予 算

平成29年度の一般会計当初予算は、前年度対比0.8%増となりましたが、市長から施政方針として、以下の趣旨の提案理由が説明されました。歳入では市税が僅かに増額となるものの、行政水準を維持し必要な施策を推進するためには、引き続き財源不足となる見込みであります。このため、臨時財政対策債や適債事業を活用し、さらに、財政調整基金からの繰り入れにより財源不足の調整を図りました。歳出では、事業の必要性、緊急性、優先性などを考慮し編成しました。

このため、臨時財政対策債や適債事業を活用し、さらに、財政調整基金からの繰り入れにより財源不足の調整を図りました。歳出では、事業の必要性、緊急性、優先性などを考慮し編成しました。

一般会計

討 論

反対討論

（日本共産党
人間市議団）

安倍政権の経済政策である「アベノミクス」で貧困と格差が拡大し、市民生活は厳しさを増している。行政改革推進で、サービス切り捨てと負担増を盛り込んだ予算には反対。市民との共同で共産党市議団が要望してきた小・中学校へのエアコン設置事業は評価するが、市民生活を応援する予算となっていない。高齢者から喜ばれてきたシルバータクシー券を含むシルバーサービス事業の廃止。②図書館の指定管理者制度導入に続き、博物館や児童センターの指定管理者導入。③待機児童の問題、保育所や学童保育室の施設改修や職員の処遇改善で人員確保を急ぐこと。④マイナンバーは、徴税強化や社会保障費の抑制が狙い。問題の多いマイナンバー制度は、中止を求めるべき。⑤地元業者の振興のための施策が少ない。住宅リフォーム助成等の施策が必要。基地対策費。市民への説明もないうまま、市街地に残る貴重な緑が伐採されることに反対。

賛成討論

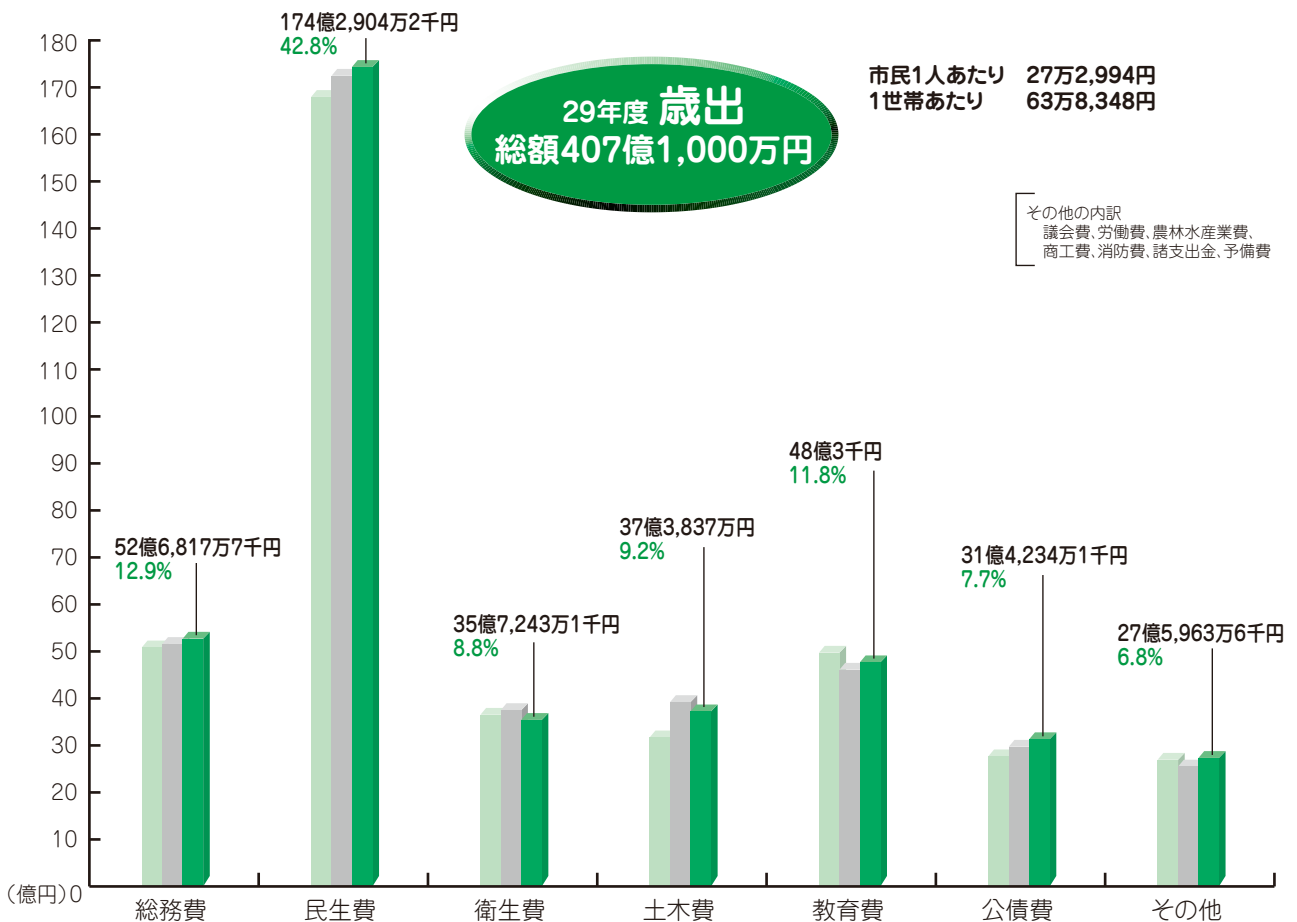
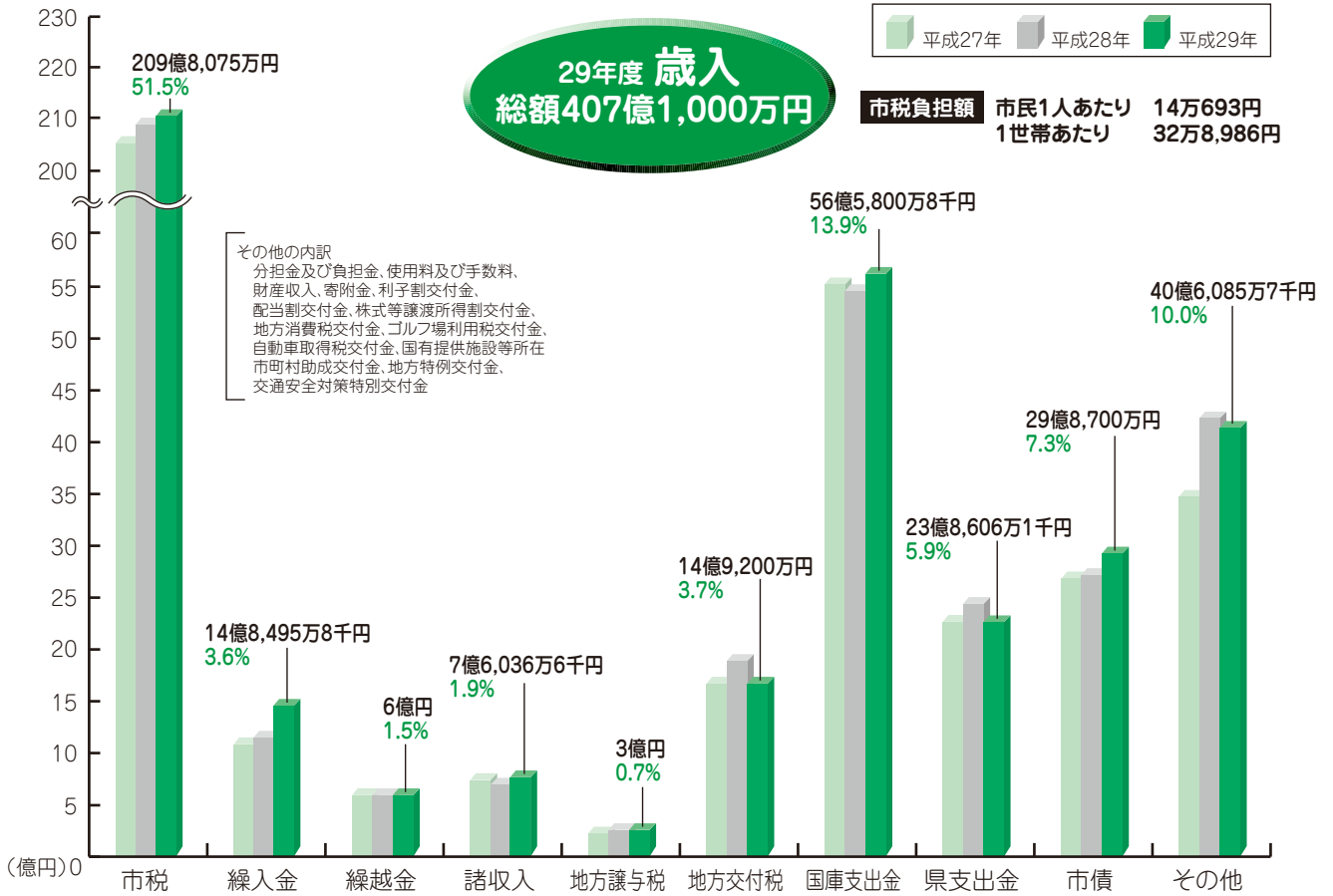
（自由民主党
人間市議団）

平成29年度の当初予算案は、総額407億1千万円で、前年度をさらに上回る過去最大規模の予算となっている。予算の内容を見ると、歳入では市税がほぼ横ばいだが、固定資産税及び軽自動車税の伸びにより全体では、約1億1千万円の増額となっている。一方、歳出では、障害者福祉サービス事業の増額などにより扶助費が、総額100億円を超え予算総額の1/4を占めている。投資的経費については、市民体育館耐震補強工事を始め安全・安心な施設とするための予算が中心となっている。また、子ども・子育て支援の充実を図るため、子育て世代包括支援センターの開設、ひとり親家庭児童学習支援事業の実施等、保育関係では、施設型給付や地域型保育給付の実施など厳しい財政状況の中、市民にとつての必要度、優先度等を考慮した予算である。以上のことから「みんなてつくる 住みやすさが実感できるまちなるま」の実現を願い賛成とする。



一般会計予算 自主財源251億2,393万1千円（61.7%）

依存財源155億8,606万9千円（38.3%）



賛成討論（公明党入間市議団）

歳出のうち【狭山茶ブランド振興プロジェクト】交流イベントや農業遺産登録に期待。【中橋耐震補強工事】歩行者の安全性確保に資する事業。【子育て世代包括支援センター】安心して子育てができる先駆的事業。担当者のスキルアップを望む。

【ひとり親家庭児童学習支援事業】貧困の連鎖を断ち切るための学習支援は必要。【健康マイレージ推進事業】健康寿命延伸のための事業であり評価する。その他にも防犯灯LED化準備、小中学校のエアコン設置関連費など、これまで公明党市議団が提案してきた施策が反映されている。

さらに市役所と市民会館の大規模公共施設の更新に当たり、完成イメージDVDを配布するなど広報の工夫を望む。公共交通の再編は入間市の将来を左右する重要な事業であり、地域住民との丁寧な議論を要望。

第6次総合計画の初年度でもあり、聖域なき行財政改革と、市民への丁寧な説明と議論を要望し賛成とする。



特別会計

討論

反対討論

（日本共産党
入間市議団）

（国民健康保険特別会計）

一昨年に国保税の増税が行われ、4月から課税限度額の引き上げが行われる。国保は、国民が医療をうけるためのセーフティネットである。国の支援と市独自の減免制度で、安心して支払える国保税にしていくことが必要であり、本議案には反対。

（後期高齢者医療特別会計）

75歳以上を対象にしたこの制度は2年ごとの保険料の見直しで、保険料の引き上げが続いている。さらに新年度から低所得者への軽減措置を廃止する計画もあり、反対である。

（介護保険特別会計）

介護保険料は3年ごとの見直しで値上げが続ぎ、高齢者のくらしに追い打ちをかけている。保険料の値上げが続く一方、介護サービスの切り下げが行われ、介護を受けたくても受けられないという様々な矛盾を生み出し、「国家的詐欺」という不満が続出している。安心して介護が受けられるよう制度の見直しをすべき。



賛成討論

（自由民主党
入間市議団）

（国民健康保険特別会計）

昨年度に引き続き、前年度対比で収入が減少している。社会保険の加入要件が改められ、後期高齢者制度への移行者も増えており、国保加入者の減少が主な要因である。歳出は、保険給付費を前年度とほぼ同額と見込んでいるが、一人当たり医療費が引き続き増加する見込みである。

（後期高齢者医療特別会計）

従来の老人保健制度に代わるものとして75歳以上の方を対象とする。対象が高齢者であることを踏まえ、親切丁寧な対応と保険料徴収率の向上に努力を図ってもらいたい。

（介護保険特別会計）

介護が必要になっても、できる限り自立した生活ができるよう支援し必要なサービスが受けられるよう創設されたものである。介護保険事業計画に基づき、制度の円滑な運営を推進するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向け、介護予防、生活支援の充実を務めるよう要望する。



賛成討論

（公明党入間市議団）

（国民健康保険特別会計）

公明党の提案により新たに実施される健康マイレージ事業、特定健診、がん検診の受診率向上策に期待。平成30年度の国保広域化に向けての滑らかな移行を要望し賛成。

（後期高齢者医療特別会計）

財源の1割を75歳以上、9割は各保険組合と公費で負担する高齢者の負担を抑えた保険制度、との認識が定着してきた。毎年増大する医療費抑制のため地域包括ケアシステムの確実な構築、肺炎予防のため肺炎球菌ワクチンの普及促進を要望し賛成。

（介護保険特別会計）

介護保険制度が開始されて17年が経過。高齢化に伴い被保険者数、認定者数も増大し、新年度には特別養護老人ホームの開設も予定されるなど、財政運営の厳しさが増す。介護認定審査会に関わる経費削減のほか、要支援者のサービス低下がないよう新たな介護予防・日常生活支援総合事業の早期整備を要望し賛成。

副市長

友山宏一氏

教育委員会委員

今井美帆氏

人事案件

意見書

精神障がい者の
交通運賃割引制度の
適用を求める意見書
(要旨)

わが国は、平成28年4月に障害者差別解消法の施行により、障がいの有無による分け隔てのない共生社会の実現を目指している。国の障がい者支援策においても、身体障がい、知的障がい、精神障がいは同じ位置付けである。しかし、交通運賃割引制度については、身体障がい者、知的障がい

本定例会において議員提出による意見書1件が提出され、全員一致で可決し、関係機関に提出されました。

者には認められているにも関わらず、精神障がい者に対しては、民営バス運賃のみの割引適用となり、障がいの種別により支援に差が生じている。精神障がい者が社会に出て活動できる機会が増えることは、症状の改善や就労の可能性にもつながり、将来的な医療費削減も期待できる。よって、障害者差別解消法の趣旨からも、国において、精神障がい者への身体障がい者及び知的障がい者と同等の交通運賃割引制度の適用を強く求める。

入間CATVで
本会議を
全面放映
しています



- 放映チャンネル
111チャンネル
- 放映時間
議会開催日の午後6時から

平成29年度入間市特別会計予算一覧表

会 計 名	予 算 額	前年度比較 増減率(%)
国民健康保険特別会計	187億8,937万3千円	△1.7
後期高齢者医療特別会計	15億9,265万 円	3.2
介護保険特別会計	94億1,593万7千円	4.4
武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計	1億 544万2千円	26.2
入間市駅北口土地区画整理事業特別会計	5億5,700万 円	1.8
扇台土地区画整理事業特別会計	5億1,600万 円	1.0
狭山台土地区画整理事業特別会計	1億5,898万7千円	△50.2
総 額	311億3,538万9千円	0.0

条例

新規条例

議案第15号	入間市老人ホーム入所等判定委員会条例	全員一致で原案可決
議案第16号	入間市予防接種健康被害調査委員会条例	全員一致で原案可決
議案第18号	入間市就学支援委員会条例	全員一致で原案可決

一部改正条例

議案第3号	市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第4号	入間市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第5号	入間市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び入間市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第6号	入間市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第7号	入間市税条例等の一部を改正する条例	賛成多数で原案可決
議案第8号	入間市消防団条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第9号	入間市商工業振興条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第10号	入間市市営住宅条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第11号	入間市子ども医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第12号	入間市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第13号	入間市難病者福祉手当支給条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第14号	入間市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第17号	入間市健康福祉センター条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第19号	入間市児童センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	賛成多数で原案可決
議案第20号	入間市博物館条例及び入間市博物館施設の使用及び使用料条例の一部を改正する条例	賛成多数で原案可決
委員会提出 議案第1号	入間市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決

平成29年2月定例会 議決結果

議決結果

表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員、欠は欠席の議員、退は退席の議員

議案等番号	議案等の件名	自由民主党入間市議団														公明党入間市議団		日本共産党入間市議団		みどり21	市民クラブ	賛成	反対	議決結果
		宮岡治郎	金子俊雄	近藤常雄	平山五郎	山本秀和	小島清人	横田淳一	杉山捷治	紺野博哉	鈴木洋明	松本義明	金澤秀信	永澤美恵子	向口文恵	末次正	安道佳子	吉澤かつら	小出亘	関谷真奈美	野口哲次			
市長提出議案	7 入間市税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	16	3	原案可決
	19 入間市児童センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	16	3	原案可決
	20 入間市博物館条例及び入間市博物館施設の使用及び使用料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	15	4	原案可決
	33 平成29年度入間市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	16	3	原案可決
	34 平成29年度入間市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	16	3	原案可決
	35 平成29年度入間市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	16	3	原案可決
36 平成29年度入間市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	16	3	原案可決	

全会一致の議案

議案等番号	議案名
1	入間市副市長の選任について
2	入間市教育委員会委員の任命について
3	市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例
4	入間市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
5	入間市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び入間市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
6	入間市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
8	入間市消防団条例の一部を改正する条例
9	入間市商工業振興条例の一部を改正する条例
10	入間市市営住宅条例の一部を改正する条例
11	入間市子ども医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例
12	入間市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例
13	入間市難病者福祉手当支給条例の一部を改正する条例
14	入間市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
15	入間市老人ホーム入所等判定委員会条例
16	入間市予防接種健康被害調査委員会条例
17	入間市健康福祉センター条例の一部を改正する条例
18	入間市就学支援委員会条例
21	市道路線の認定について
22	市道路線の廃止について
23	平成28年度入間市一般会計補正予算（第7号）
24	平成28年度入間市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
25	平成28年度入間市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
26	平成28年度入間市介護保険特別会計補正予算（第2号）
27	平成28年度入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
28	平成28年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
29	平成28年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
30	平成28年度入間都市計画事業狭山台土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
31	平成28年度入間市水道事業会計補正予算（第2号）
32	平成28年度入間市下水道事業会計補正予算（第2号）
37	平成29年度入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計予算
38	平成29年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計予算
39	平成29年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計予算
40	平成29年度入間都市計画事業狭山台土地区画整理事業特別会計予算
41	平成29年度入間市水道事業会計予算
42	平成29年度入間市下水道事業会計予算
委員会提出議案	1 入間市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例
議員提出議案	1 精神障がい者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書について

議案第19号

人間市児童センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

【議案の内容】 児童センターの運営の効率化と市民サービス向上に向けて、平成30年4月から、地方自治法に基づき指定管理者制度を導入を図るために改正するもの。

賛成10
自由民主党
人間市議団
※議長を除く

今回の条例改正は、児童センターに指定管理者制度を導入するとともに、導入に併せて、開所時間を午後6時までに延長するもの。児童センターは、数多くの行事やクラブ、教室等、様々な事業をボランティア会との協働により実施し、多くの市民に親しまれている施設だが、中学生の利用が少ないという課題がある。今回の制度の導入により、これまで培ってきた運営方針を踏まえつつ、指定管理者の創意工夫により、今まで以上の高度なサービスの提供、中学生の利用の促進につながる事業の実施、開所時間の延長による効果、について充分検証される事を要望し、賛成討論とする。

賛成4
公明党人間市議団

今回の改正は、平成30年4月から指定管理者制度の導入により、人件費などの経費削減と、民間の自由な発想を活かしたサービスの向上が目的と理解する。私達は、反対する会派の民間よりも公務員のほうが上、という上から目線の考え方には納得できない。移行に際しては、児童センターの様々な活動にご協力頂いてきたボランティア団体の皆様との連携をさらに密にし、利用者についてもこれまでの幼児や小学生に加え、中学生や高校生の健全な居場所づくりにもご努力頂くとともに、近隣市にはないプラネタリウム事業のますますの充実を要望し、賛成の討論とする。

反対3
日本共産党
人間市議団

本条例は、平成30年4月から児童センターの管理運営に指定管理者制度を導入するものである。国の号令で、行革の名のもと外部委託を進めている一環である。しかし、全国で業者の突然の撤退や経営破たん、職員の低賃金化、安全性やサービスの低下など様々な問題が生じている。総務省も制度の見直しや運営の適正化の通知を出している。児童センターは、児童厚生施設で営利を追求する民間企業の運営は、なじまない。経験ある職員の配置で親子や青少年の変化に気づき、速やかに庁内の他部門との調整や連携を図るなど直営でこそ果たせる役割を維持すべきである。

※みどり21（1名）賛成

※市民フォーラム（1名）賛成



議案第20号

人間市博物館条例及び人間市博物館施設の使用及び

使用料条例の一部を改正する条例

【議案の内容】博物館の運営の効率化と市民サービス向上に向けて、平成30年4月から、地方自治法に基づく指定管理者制度の導入を図るために改正するものを。

賛成10
自由民主党
人間市議団
※議長を除く

この条例は、人間市博物館に指定管理者制度を導入し、業務の一部について指定管理者の管理とするもの。

制度の導入により、民間のノウハウの活用による施設運営、管理の効率化が図られるとともに、広報・誘客の企画の立案・実施、施設を活用したイベント等の開催により、来館者の拡大につながることを期待する。

今回の制度導入は、市が直接行う業務と指定管理者が行う業務が混在する。両者の業務分担の方向性に課題がある。経費の削減、具体的なサービス向上を、今後速やかに明らかにしていただくことを求める。博物館がより活性化することを要望して、賛成討論とする。

賛成4
公明党人間市議団

今回の改正は、平成30年4月からの博物館アリットへの指定管理者制度導入に際し、アリットの心臓部でもある学芸業務は委託せず、学芸員を直営のまま継続してこれまで以上に人間市のもつ伝統・文化・歴史的資料の保管や研究に専念される複合型を選択されたことは評価できる。

今後は、業務分担の更なる見直しや、入館料などを指定管理者の収入とするなどのやる気を引き出す制度づくり、指定管理者制度の導入による費用対効果の明確化などを、早急に御検討頂き、改めて議会にお諮り頂くことを強く要望し、賛成の討論とする。

反対3
日本共産党
人間市議団

博物館は、地域の産業、

歴史、文化、芸術など様々な資料の収集・保管、調査研究を行い、それらの展示や事業に取り組み、市民の社会教育を推進する場所である。社会教育施設の指定管理制は問題が多く指摘され、指定管理はなじまない

とされている。明石市の天文学館などのように多くの自治体が社会教育施設の運営を市の大事な事業と位置付けて市の直営を守っている。指定管理者制度より、職員の専門性やアイデアが発揮される行政にしていることこそ求められている。博物館協議会への説明が不十分のまま、経費なども検証せずに、決定した過程にも問題がある。

反対1
市民フォーラム

本案は、博物館の一部について指定管理者制度を適用するものだが、以下の3点の説明が不十分である。

1点目は、学芸業務と交流・普及業務を市直営とし、広報・誘客業務を指定管理とすることの効果。コンサルとの違いが明確でない。

2点目は、指定管理者が行う自主事業。市民ギャラリー、体験教室等の空きが少ない。これでどれだけの自主事業ができるか。

3点目は、施設管理コストの削減。市は、警備、清掃等を委託している。指定管理者も委託することになるだろう。管理コストが削減されるか。

以上のように、指定管理とするメリットが見えない。

※みどり21(1名)賛成



Question 1 一般質問

Answer 2月定例会の一般質問は、質問者10名により2月13・14日の2日間行われました。
※質問・答弁内容は質問者本人が要約したものです。

学校保育所統廃合・新市庁舎建設

小出 巨議員

質問 現在市内に16校ある小学校、11校ある中学校を、9つに分けた地域に1つにする統廃合を進めるとしているが、学校がなくなれば、その地域の少子化がさらに進み衰退を招くのではないか。

市長 学校にある程度の規模がなければ競争がなくなり、部活もできなくなる。

質問 11ある公立保育所を6つに統廃合していくとしているが、待機児童は大きな問題であると市も認めている。市から紹介された保育施設が離れているため送り迎えできない隠れ待機児童問題も深刻である。公立保育所の統廃合はさらに問題を深刻にする。「子育て応援」に反するのではないか。

市長 集約することで保育の質が高くなることを考える。

質問 市役所AB棟を新築し、そこに市民会館を複合化し、82億円を投入する計画は、先にこの形ありき



上橋大けやき沿い市道の防護柵

質問 市道504号線人間川の上橋大ケヤキ脇を入った市道の防護柵のない部分は、人間川への崖に面しており大変危険である。改善の見通しは、

で進み市民には寝耳に水である。市民の財産である公共施設の改築などで市民主体で事業を進めるべきでは、

市長 最終的にこの形が一番いいと考えている。市民には丁寧に説明し理解を得たい。

市長 現場を確認したところ危険なので新年度予算で、できるだけ早く改善する。

Question 2 財政見通しと行革推進・庁舎問題

山本 秀和議員

質問 このたび策定する中期財政計画(案)のあらましは。

企画部長 平成29年度から5年間の計画で、土台となる財政推計での収入不足は5年間で約60億円。これに行政改革や公共施設マネジメントの効果を織り込み、財政計画では収支が一致する。行政改革と公共施設マネジメントの推進が前提となる。

質問 防災、インフラ等の「安全投資」に対する基本認識は。

企画部長 重要性は認識。一時に多額の費用を必要とすることから、基金の積み立て等に今後努める。

質問 市庁舎建て替え、公共施設マネジメントに伴う①市債の増発規模②公債費負担の見通しは。

企画部長 ①全体で年間35億円を上限と考えている。平成38年度での期末現在高348億円を見込む②学校耐震化関連の元金償還が始まり、すでに上昇。市庁舎関連でさらに上昇。

質問 行政改革の基本的方向性は、
企画部長 「選択と集中」、施設・担い手・事務事業等の「最適化」を、市行政改革推進本部を核に全庁

的に進める。施設等の集約再編・受益者負担等、市民への影響もあるものと認識。市民説明を尽くし状況を公表。

質問 ①常設の「行財政改革推進市民会議」の設置②「働き方改革」を踏まえたテレワークの環境整備・サテライトオフィスの誘致や研究開発支援等の研究を。

市長 ①30年度設置に向け検討。②今後研究したい。



地震で6階(水道局)が圧壊した神戸市役所2号館他(写真提供:神戸市)

市役所・市民会館耐震化について

野口 哲次議員

質問 今年1月に、市役所AB棟の建て替え、市民会館・中央公民館の廃止と市役所への機能移転を柱とする整備の方向性が定まった。理由は、

市長 市役所については、用地を確保する必要がないこと、耐震化が不要なC棟を活用できることから現在の敷地内での整備を選択した。また、AB棟は、建設後40年を経過し、

耐震補強しても市民ニーズに十分対応できないことから建て替えを選択した。市民会館・中央公民館については、これから求められる市役所像を見据えて、二つが持つ機能を包含する複合施設とすることにした。

質問 市民への周知・理解は、

市長 検討の経過を市ホームページに掲載し、パブリックコメントや2回の説明会を行った。しかし、説明会の回数や出席者に限りがあり、必ずしも十分とは言えない。

質問 今後、市民に説明していくのか。

市長 2月1日号の市報に市役所・市民会館耐震化の方向性を掲載し

た。これを皮切りに市民への説明を増やしていきたい。

質問 事の重大さとこれまでの市民への説明が不十分であったことを考えると、市長の出番ですね。

市長 行けるところには行って私から説明したい。ただ、確定したのは耐震化の方向性であり、建物の規模や内容については、市民アンケートやワークショップで市民の意見を聞き、決めていきたい。



耐震化が急がれる市役所庁舎

児童発達支援センター開設へ

永澤 美恵子議員

質問 障がい児通園事業「元気キッズ」については、母子分離などの充実を長年要望してきたが、このたび児童発達支援センターへの格上げ移行が実現予定。その内容は、

健康福祉センター所長 熟練保育士による保育所訪問支援事業を実施予定。月曜日も開所し利便性向上。

質問 さらなる充実を目指し①保護者に療育の意義が伝わる丁寧な指導を②施設を有効利用し日中一時支援事業・放課後デイサービスの実施を③療育の一環として保育所における集団保育のメニューを。

健康福祉センター所長 ①再度確認する。②実施できるよう検討する。③研究する。

質問 大妻女子大の移転跡地への企業進出により、税収増や雇用創出などがある反面、二本木狭山台地域の交通量が増え、住民の危険が増す懸念も出てくる。交通安全対策を講ずるべき。①博物館アリット前交差点へ信号機の設置を。②二本木地域への大型車両の通行規制を。

市民部長 ①危険性は認識。地域の関係者と協議し、設置に向けて努力する。②工業会等と協議し、住宅街を通行しないよう指導する。

質問 ひとりで食事をする子どもへの対策として「こども食堂」が全国的に拡大中。入間市では青少年活動センターが「むささび食堂」を実施している。各公民館の料理サークルに協力依頼し全市的な展開を。

教育長 有意義な施策。検討する。



危険な狭山台交差点

Question 5

西武地区体育館の施設整備を

末次 正議員

質問 平成元年の竣工から28年が経過する西武地区体育館の、雨漏りと2階の遮光カーテンの状況は。

教育長 雨漏りは4ヶ所、遮光カーテンは32枚中24枚の修繕が必要。

質問 本体育館は年間3万7千人を超える利用者がいる。緊急修繕を行うべきでは。

教育長 市内の地区体育館の経年劣化も同様の状況。計画的に改修を実施する。

質問 本体育館は災害時には市民の命を守る重要な施設。本格的改修と水・毛布等の備蓄計画はあるか。

市長 本格的改修を行う際は、建物の長寿命化と避難施設としての機能を備えた体育館を目指す。

質問 「桂通り」は大型車両の増加で周辺の住民が騒音と振動で苦しんでいる。周辺の車両を管理する会社に制限速度遵守を要請するよう環境課に提案したが、その後の状況は。

環境経済部長 制限速度遵守を、管理会社に申し入れをした。



早期の改修が待たれる西武地区体育館

質問 圏央道ほぼ全線開通に伴い、大型車両の増加が見込まれる。幹線道路は堅牢な道路改修を行うべき。

都市建設部長 強度を上げた改修を目指す。

質問 金子駅の跨線橋バリアフリー工事に伴う、通路の屋根設置は。

福祉部長 屋根を設置する方向で工事は進捗している。

質問 箱根ヶ崎駅方向のホームの屋根の延長はできないか。

企画部長 JRと交渉を進める。

Question 6

一般・文化・道路・教育行政

鈴木 洋明議員

質問 大妻女子大学狭山台校閉校に伴う跡地利用について。(1)「まちづくり」の考え方と企業進出について。(2)土地利用の変更手順は。(3)企業進出による人間市への影響は。

副市長 (1)安定した生活基盤の確保と働きやすいまちをつくること。進出は圏央道の影響がある。(2)住民説明会、人間市都市計画審議会、埼玉県との協議、埼玉県開発審査会の審議となる。(3)雇用機会の拡大、人口増加、税収増加が期待。デメリットといえば交通量の変化か。

質問 人間市指定無形民俗文化財の諸課題について。(1)貴重な文化の継承について。(2)継承発展に向け行政としての支援は。

生涯学習部長 (1)各保存会では後継者の育成には苦慮している。全国的にも後継者不足による継承が危ぶまれているところがあることを理解。(2)後継者を志すきっかけになるようPRに努めていきたい。シティーセールスとしても調整していきたい。市の補助金以外でも補助事業の指導等助成を行っていく。

質問 藤沢中央通り線延伸について。

都市建設部長 所沢市と連携を密にし、ともに第一工区、30年度供用開始を目指す。

質問 学校トイレの洋式化について。

教育長 個別改修と共に系統ごとの改修についても洋式化率が上がるように計画的効率的に改修をめざす。



子どもたちが使いにくい和式トイレ

高齢者の生活を支える施策充実を

吉澤 かつら議員

質問 高齢者の貧困が社会問題になっている。市民からも「年金が減らされ暮らしにくい」との声が寄せられている。高齢者の生活実態の認識と暮らしの実態調査をすべき。

市長 高齢者の暮らしが厳しいのは認識している。実態調査については研究していきたい。

質問 介護保険料は3年ごとの見直しで値上げが続いている。保険料は年金から天引きされ、高齢者の暮らしの厳しさに追い打ちをかけている。介護サービス利用料は1割〜2割負担だが、利用料の負担が重くサービスを受けたくても我慢するケースも。必要な介護サービスが受けられるように保険料と利用料の軽減制度の拡充をすべきと思うが見解は。

市長 入間市では保険料と利用料の軽減制度がある。難しいが、どういう形で拡充できるか研究していく。

質問 高齢になると賃貸住宅などの住まいの確保が困難になる。①市営住宅の民間住宅借り上げについて検討は進んでいるのか。②他市で行

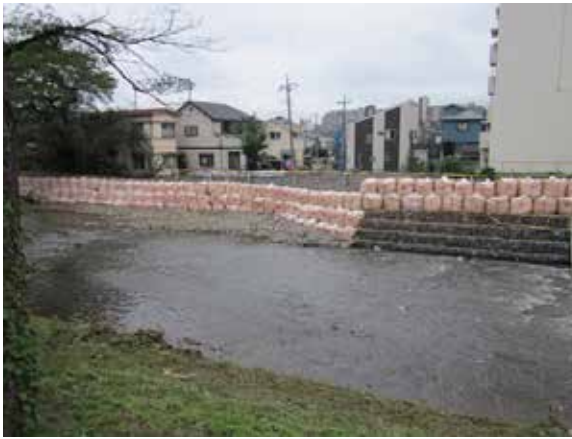
っている賃貸住宅の家賃補助を。

市長 ①市営住宅の空きがあり、借り上げ住宅については、引き続き検討する。②家賃補助は行わない。

質問 高齢者の外出を支援してきたシルバーサービスタクシークーが今年で廃止される。市民の「タクシークーをなくさないで」との声を受け止め、この制度を存続すべきでは。

市長 存続するのは難しい。

【このほか】霞川の改修工事を質問



昨年の台風で決壊した霞川護岸の抜本的改修工事を

医療費無料化18歳へ・給食費補助

安道 佳子議員

質問 日本の子どもたちの貧困率は16・3%。一人親世帯は54・6%と深刻。社会問題となっている子どもたちの貧困についての認識は。市として実態把握を行い対策等の検討を。

市長 一人親家庭のアンケートでは「生活が苦しい」が77・5%。苦しい生活と受け止めている。実態調査は新年度、子ども支援課にチームを作り対応を検討したい。

質問 子ども医療費助成制度を中学卒業まで無料にして、多くの世帯から喜ばれている。先進自治体では18歳まで無料化している。子育て世代のアンケートでも高校卒業まで拡充を望んでいる。入間でも拡充を。

市長 中学卒業まで無料化して良かったとの認識だ。財政的な面から高校卒業までの拡充は厳しい。

質問 この制度は、本来ならば国・県が実施すべき制度。県に制度の拡充を求めるべき。

市長 今後も、県に制度の拡充を求めている。

質問 子育て支援・経済的支援として、学校給食費助成の実施を。多子世帯への補助から実施の検討も。

市長 子育て支援策は、重要な認識だ。様々あり、給食費助成については、多子世帯への助成も含めて今後、研究していきたい。

質問 温かくておいしい人間の学校給食を守るために、今後も直営による学校給食を。

教育長 小学校は今後も、自校直営で、中学は直営センターで実施。



公園で遊ぶ子どもたち

Question 9

健康マイレージの実施に向けて

向口 文恵議員

質問 過去の一般質問で取り上げてきた「健康マイレージ」制度が来年度予算に計上された。この制度は健康づくりに向けた取り組みを評価しポイント化することで、健康づくりが持続可能になり、健康寿命の延ばりや医療費の削減、介護予防の効果を目指した制度。①県では事業の全県展開を目指す。②県では事業の全県展開を目指す。③さらなる意識の向上に向け、独自のオプション付与への見解は。

健康福祉センター所長 ①県で一括してシステムを構築し運営。市町村は共同で参加する形式とする。歩数計を持ち歩数などに応じ特産品などにポイント還元できる。②この事業をまず軌道に乗せていく。③他の自治体の独自オプションなど調査研究し、効果的なインセンティブを検討していく。

質問 ウォーキングに親しめる工夫として、消費カロリーやコースのキロ数などがわかるウォーキングマップ作製はできないか。

健康福祉センター所長 作製に向



健康マイレージのイメージ図

けて検討していく。

質問 当市では公立保育所の土曜日開所時間は午後2時までとなっている。現代は働き方も多様化し、土曜日も平日と同様の保育時間にしてほしいという声は多い。近隣市はほとんどが着手している。見解は。

福祉部長 実施している近隣市等にその方法など確認し、必要であれば検討していく。

Question 10

登下校・旧国民宿舎・入間川中橋

宮岡 治郎議員

質問 小・中学生の登下校について。①通学路の設定で重要視する事柄は。②学校での児童・生徒への安全指導は。③教育委員会としての対策は。④市長部局として出来る事は。

教育長 ①交通安全、防犯や教育的環境を考慮。②ほぼ毎日指導している。「安全マップ」は、危険回避能力の育成にも活用。③「子ども一〇番の家」は、一〇四七軒に依頼。④安全総点検の結果を受けて、整備計画を作成して対応。スクールゾーンを県公安委員会に要望。

質問 加治丘陵の旧国民宿舎について。①平成14年3月の廃業後の経過は。②建物の解体・撤去工事の予定と課題は。③周辺住民への説明は。

環境経済部長 ①小・中学校の耐震工事が優先し、解体が遅れた。②平成29年度を予定している。敷地内の、八津池方面からの歩行者通路は維持する。アスベストの除去作業では、飛散を防止する。③不安を解消して頂くよう、丁寧にお知らせする。

質問 入間川の中橋について。①



廃止から15年が経過する、旧国民宿舎『入間グリーンロッジ』

歩道の拡幅工事の日程と交通対策は。②車道への転落防止対策は。③自転車の歩道通行は可能か。④橋の上部構造の耐震補強工事の詳細と効果は。

都市建設部長 ①平成29年7月に完成予定。2月下旬から7月下旬まで、車道は日中片側交互通行となる。②高さ80cmの柵を設置する。③自転車・歩行者道として可能である。④揺れ抵抗部材や、落橋防止のチェーン32か所等で、震度7にも耐える。

第1回臨時会

改選後の 初議会

3月29日の任期満了に伴う市議会議員一般選挙は、3月12日に投票が行われ、新しく22人の議員が誕生しました。

また、改選後の初議会を4月12日に開催しました。

・ 議会人事 ・

議長に

横田淳一氏

副議長に

小島清人氏

を選出

改選後の初議会において、正副議長選挙、議席の決定、常任委員等の選出を行い、さらに議会選出監査委員の選任議案に同意しました。



就任のあいさつ



議長
横田淳一氏



副議長
小島清人氏

四月の臨時会において、議長ならびに副議長に就任いたしました。市民の皆様の負託に応えられるよう、誠心誠意努力し、公正で公平な議会運営に努めてまいります。

市の財政は、大変厳しい状況となっております。人間市議会としても、直面する行政課題に積極的に取り組んでいかなければなりません。今後市民の立場に立って開かれた議会運営を行ってまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

監査委員に

永澤美恵子氏

埼玉西部消防組合議会議員

永澤美恵子 鈴木 洋明
紺野 博哉

埼玉県都市競艇組合議会議員

横田 淳一

人間西部衛生組合議会議員

小出 亘 末次 正
小島 清人 宮岡 治郎
平山 五郎 金子 俊雄

瑞穂斎場組合議会議員

吉澤かつら 向口 文恵
古仲 リカ

総務常任委員会

◎紺野 博哉 ○内村 忠久
小出 亘 細田 智也
永澤美恵子 小島 清人
野口 哲次 平山 五郎

都市経済常任委員会

◎鈴木 洋明 ○長谷川 渉
安道 佳子 末次 正
坂本 優子 横田 淳一
金子 俊雄

福祉教育常任委員会

◎松本 義明 ○古仲 リカ
佐藤 匡 吉澤かつら
向口 文恵 金澤 秀信
宮岡 治郎

議会運営委員会

◎金澤 秀信 ○鈴木 洋明
小出 亘 吉澤かつら
末次 正 松本 義明
坂本 優子 紺野 博哉
宮岡 治郎

議会広報委員会

◎宮岡 治郎 ○松本 義明

議会図書室運営委員会

小出 亘 末次 正
長谷川 渉 古仲 リカ
内村 忠久 細田 智也
野口 哲次

議会防災検討委員会

吉澤かつら 末次 正
細田 智也 紺野 博哉
野口 哲次

◎は委員長 ○は副委員長

～凡例～

抱



写真

会派名・(※) 氏名
住所
電話番号

※()の内数字は当選回数



日本共産党入間市議団 (3)
小出 亘

仏子1170-4
☎2932-7884

皆さんの声・願いを直接市政に届け、市民の命・暮らし・平和を守る市政実現に全力を尽くします。



日本共産党入間市議団 (4)
安道 佳子

久保稻荷4-4-18
☎2962-8082

市民の暮らし・いのち・平和を守る入間市をめざし、みなさんと力を合わせ頑張ります。



日本共産党入間市議団 (1)
佐藤 匡

上藤沢305-21
☎2965-3907

18才までの医療費無料など、希望を持って生活できるまちづくりに全力を上げます。



日本共産党入間市議団 (4)
吉澤 かつら
豊岡4-6-18
パーデンハイム1-203
☎2964-0208

市民に寄り添い、市民のくらし・いのち・平和を守る入間市をつくるために、全力をあげてまいります。



公明党入間市議団 (2)
末次 正
南峯258-2
☎2936-0869

「一人の声を市政に届けます」をモットーに、安心・安全の街づくりのために全力で働いてまいります。



公明党入間市議団 (3)
向口 文恵
上藤沢406-14
☎2965-0170

市民の皆様のご健康と暮らしを守り、次世代につながる「希望がゆきわたる町・いるま」をめざします。



自由民主党入間市議団 (1)
長谷川 渉
宮寺2322-9
☎2934-5060

未来に挑戦！市民の皆様とともに安全安心で子ども達が夢に向かい挑戦できるまちを目指します。



自由民主党入間市議団 (1)
古仲 リカ
東藤沢4-11-19
☎2966-5931

「女性も活躍できる政治とくらし」市民の目線で、皆様と一緒により良いまちづくりを目指します。



自由民主党入間市議団 (1)
内村 忠久
扇台2-5-34
☎2966-1293

皆様が思える「大好きな町・入間」を目指し、皆様と共に伝え活かしてまいります。

員

介

これからの
の抱負！



自由民主党入間市議団 (2)
松本 義明
宮寺2925-204
☎2934-4308

福祉の現場経験をまちづくりに活かす！皆さんの「声をかたちに！」していき身近な行政を実現します。



民進の会 (1)
坂本 優子
東藤沢5-2-32
☎2006-6278

移りゆく町並み。民間企業で培った実行力を活かし、入間市の未来に向けて、皆様と共に取り組みます。

～任期～

平成29年3月30日
から
平成33年3月29日
(4年間)

～定数～
22人

「女性と子どもが輝く社会こそ平和である」との信念で、託された皆様の思いに真剣に込えています。



公明党入間市議団(4)
永澤 美恵子
二本木518-4
☎2934-4659

市民の皆様の御期待と御信頼にお応えする為に、これからも全力で働き抜いて参ります。



公明党入間市議団(4)
金澤 秀信
東藤沢4-7-3
☎2965-8587

多様性を認め合うまち創りに向け、小さな声にも耳を傾け、市政に届け、皆さんと一緒に入間市を創ります。



民進の会(1)
細田 智也
新光306-888
☎2932-2881

議 紹

聞いて
みました!



自由民主党入間市議団(3)
小島 清人
河原町8-5
フォルム飛和201
☎2962-5614

市民の皆さまの声を聴き、市政に反映し、行政のチェック機能となり、すみよい街づくりを目指します。



自由民主党入間市議団(2)
紺野 博哉
東町5-6-10
☎2962-0415

50年を経て新たなスタートを切った入間市政。未来に向かって「安心・安全の街づくり」を目指します。



自由民主党入間市議団(2)
鈴木 洋明
下藤沢859
☎2962-2429

みんなで創ろう！夢のあるまちいるまをかかえて元気とパワーと明るさでまちづくりにまい進いたします。



自由民主党入間市議団(6)
宮岡 治郎
仏子357-1
☎2932-1166

市民の多様な意見を尊重してまいりました。暮らしに柔軟に対応でき、入間市議会と市政を目指します。



市民フォーラム(5)
野口 哲次
春日町2-14-7-311
☎2963-0309

誰もが住みよいまちづくりをめざして、限りある財源を必要で効率的な施策や公共施設に振り向けます。



自由民主党入間市議団(3)
横田 淳一
野田677
☎2932-2502

市政の皆様の声を市政へ反映した、安全で・楽しく・美しい街づくりに取り組みます。

会議の様様をご覧いただけるおもな方法

- ①傍聴
市議会の本会議は公開されており、誰でも傍聴できます。事前予約は不要です。当日、市庁舎5階の西側エレベーター前にある傍聴受付で住所・氏名・年齢等を記入のうえ、傍聴券の交付を受け傍聴席へお入りください。定員は先着60人です。
- ②ケーブルテレビ放映(録画放送)
議会開催日当日の午後6時から、入間ケーブルテレビ「111チャンネル」で、本会議の様様を録画全面放送しています。
- ③会議録
入間市議会図書室、市役所3階市政情報コーナー、市立図書館本館で会議録が閲覧できます。また、市議会ホームページでも閲覧できます。

環境、教育、福祉の充実、市民が安全、安心で暮らせる、笑顔とあいさつの出来る、まち創りの推進。



自由民主党入間市議団(7)
金子 俊雄
小谷田1421
☎2962-3620

市民と行政の協働の街づくりに基、本に教育福祉環境狭山茶の振興地域の整備等入間市を元氣な街にします。



自由民主党入間市議団(4)
平山 五郎
南峯367-2
☎2936-0758



移り変わる町並みと人の心
 大野克己(大学生)

十年以上前、私がこの町へ引っ越してきた時、この地には多くの茶畑があった。しかし、その姿のいくつかは、平地や駐車場に変貌してしまつた。時代と共に農地が減っていくのは当然なのだろうが、入間市の象徴のひとつである茶畑が目に見える形で減っていくのは寂しさを感じる。変わっているのは町並みだけではない。私が小学生の頃、だれかと遊ぶ約束をしていなくても公園や校庭へ行けば友達が居た。しかし、今は誰も居ないことが多い。これは、少子化や、電子機器の発展だけでなく、寛容さを忘れ、子どもの遊びを規制し続けた結果ではないだろうか。

近年、「再生」や「復興」という言葉をよく聞く。過去や理想の町並みに思いを馳せることも重要だが、まずは自分の心を振り返り、寛容さを取り戻すことが暮らしを豊かにする第一歩になると私は考える。



認知症の人にやさしいまちづくり
 藤中千恵子(介護福祉士)

ある日、スーパー近くの車の往来が多い通りで、高齢のご婦人が一人でよろめきながら歩いておられました。思わず声をかけたのですが、「家がわからなくなつた。」とのこと。その時は、後ろから娘さんらしき方が見守られていて、安心しました。65歳以上の4人に1人が認知症もしくはその予備軍といわれる今、認知症は他人事ではありません。認知症介護の第一人者である大谷のみ子さんは「徘徊にはその人なりの意味や目的があり……その姿を認め、徘徊がノーではなく、安心して徘徊できる町こそ、誰にとっても住みやすい町だと思えることが重要。」と話していました。市内でも市民団体の主催で「徘徊声掛け訓練」が行われた事を知りました。子どもや高校生への学習も含めて、みんなが認知症への理解を深め、誰もが住みやすい安心できる町になってほしいと思います。



6月定例会日程案

- 5月 31日 (水) 開会
- 6月 5日 (月) 総括質疑
- 6月 6日 (火) 総務常任委員会
- 6月 7日 (水) 都市経済常任委員会
- 6月 8日 (木) 福祉教育常任委員会
- 6月 12日 (月) 一般質問
- 6月 13日 (火) 一般質問
- 6月 14日 (水) 一般質問
- 6月 20日 (火) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会議務局へお問い合わせ下さい。
 2964-1111 内線5112・5113

いるま市 三二情報 頑張ってます! 自治会

自治会は、地域に住む人々が交流を通して連帯感を育み、暮らしやすい地域社会をつくるという目的をもって設立された住民自治組織です。入間市には121の自治会があり、6地区の区長会に分かれて活発に活動しています。

夏まつりや敬老会などのふれあい活動、防災パトロールや自主防災会などの安全・安心活動、市民清掃デーなどの環境・美化活動と、自治会の活動内容も多岐にわたっています。

多くの市民の方が自治会活動に参加いただいていることと思いますが、自治会加入世帯数は減少傾向にあり、平成28年10月1日現在の自治会加入率は67.2%です。

忙しい毎日の中でなかなか地域活動への参加が難しい方も多いと思いますが、まずはできるところから自治会活動を通した「住みよいまちづくり」に参加してみたいはいかがでしょうか。

自治会 防災訓練参加風景

議会広報委員会

◎宮岡 治郎 ○末次 正 安道 佳子
 吉澤かつら 関谷真奈美 紺野 博哉
 山本 秀和 ○は委員長 ◎は副委員長

この発行物は資源ごみ【雑がみ】として出せます。